

通所系サービス事業所における感染対策

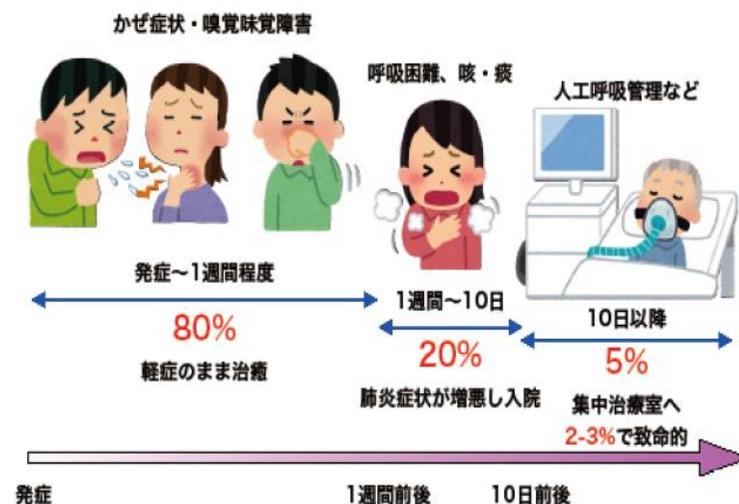
②新型コロナウイルスの症状と対策 (感染対策Q&A Vol.1-2対応)

地域理学療法学会COVID-19特別チーム 通所班 感染対策グループ

浅田孝一、足立斉志、阿部将之、◎北川智美、原島亮治、堀越一孝、脇田正徳

新型コロナウイルスの臨床的特徴

- 初期症状はインフルエンザや感冒に似ており、多くの症例で発熱、呼吸器症状（咳、咽頭痛、鼻汁、鼻閉）、頭痛、倦怠感、嗅覚・味覚症状を訴える場合がある。
- 重症化する場合、1週間以上息切れなど肺炎に関連した症状を認め、呼吸不全、急性呼吸窮迫症候群や敗血症などを併発。
- 無症状病原体保有者や発症2日前からの感染リスクもある。



相談・受診の目安

以下のいずれかに該当する場合は、
主治医や身近な医療機関、受診・相談センター等に連絡

- ①息苦しさ（呼吸困難）、強いだるさ（倦怠感）、 37.5° 以上の高熱等の強い症状のいずれかがある場合。
- ②重症化しやすい方で、発熱や咳などの軽い風邪の症状がある場合。
- ③上記以外の方で、発熱や咳など比較的軽い風邪の症状が続く場合（症状が4日以上続く場合、強い症状と思う場合、解熱剤などを飲み続けなければならない場合）。

利用者の健康管理と対策

施設内にウイルスを持ち込まない、拡げない。

- 通所前に自宅での体温測定を依頼し、本人や家族の健康状態を確認し、必要に応じてサービス利用を中止し、受診・相談センターへ相談させる。
- 来所時に体温、血圧、脈拍、経皮的動脈血酸素飽和度などのバイタル測定を行い、呼吸器症状や倦怠感、味覚・嗅覚障害などの聞き取りを行う。
- 認知症患者の感染対策には周囲のサポートが重要。清潔観念の理解や清潔行為の実施が難しい場合は、職員がウェットティッシュ等でふき取るなど、柔軟に対応する。

職員の健康管理と対策



普段に比べ体温、体調に異変がある場合は出勤を検討する。

- 発熱、咳嗽、鼻汁、全身倦怠感を伴う体調の変化を感じた場合は、躊躇することなく、**出勤する前に職場に連絡**し相談する。また家族に同様の症状がある場合も対応を相談する。
- 勤務中に体調不良を感じた場合、我慢せずに必ず管理者に申し出る。また休憩時なども「3つの密」を避けるように配慮する。飲食の際は、会話を控え、対面にならないように注意する。

文献

- 厚生労働省 新型コロナウイルス感染症COVID-19 診療の手引き第3版

<https://www.mhlw.go.jp/content/000670444.pdf>

(入手日付2020.9.4)

- 厚生労働省老健局 介護現場における（施設系通所系訪問系サービスなど）感染対策の手引き第1版

<https://www.mhlw.go.jp/content/12300000/000678253.pdf>

(入手日付2020.10.1)

- 日本環境感染学会 医療機関における新型コロナウイルス感染症への対応ガイド第3版

http://www.kankyokansen.org/uploads/uploads/files/jsipc/COVID-19_taioguide3.pdf

(入手日付2020.5.7)

- 日本環境感染学会 高齢者福祉施設従事者のための Q&A (第2版)

http://www.kankyokansen.org/uploads/uploads/files/jsipc/koureisya_shisetsu_Q%EF%BC%86A_2.pdf

(入手日付2020.5.26)